えひめチャレンジプラン推進懇話会
デジタル田園都市国家構想交付金事業（R5）に係る委員の主な御意見

事業名	主な御意見
①スゴ技、すごモノを世界へ売り込む愛媛の営業推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会への出展・フェアの開催が未達（5年間合計）であった点については、コロナによる行動制限などもあり致し方ないと思われる。 ・商談会・フェアへの参加企業数が目標を大幅に上回っているが、成約に至らなかった要因等を分析し、今後より幅広い業種・企業に対しての支援がなされることを期待したい。 ・サプライサイドの視点が強いようである。今後は、それらの技術が解決できるだろうデマンドサイドの困りごとを聞き出すような取り組みがなされると更によくなる。
②県内企業の魅力発信と雇用マッチングの促進による若者の定着実現化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験をした生徒・児童たちが、事業所のどのようなところを「魅力」と感じたのかも確認しながら、事業所側の発信力を高めて精度を上げていくことも必要である。 ・「企業の魅力とは何なのか？」を明確に定義し、その上で、高めていく必要がある。また、今後は、もっと経営全般（経営者力、経営理念・ビジョン、ビジネスモデル、業務の仕組み化、社員がイキイキ働き育つ環境づくり等）の視点で経営基盤強化が図れるような支援事業を行っていくことが望ましい。 ・雇用マッチングの促進について、県外進学者やいったん県外で就職した人においても、継続して地域との連携強化が重要である。地域イベントや活動の開催・参加を通じて、若者が地域とのつながりを深める機会の提供を期待したい。
③Society5.0社会を見据えた未来技術活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業や畜産業などで生産者への高度かつ適時での技術指導が行える体制が構築されている。今後は養殖業や製造業、サービス業への展開を期待したい。 ・スマートヘルスケア事業推進にあたっては、市町独自で開発されているアプリ等との連携を模索していただくとありがたい。 ・Society5.0社会の姿をできるだけ明確に想像する取り組みがなされることが望ましい。
④えひめのものづくり「次のスゴ技・すごモノ」開発推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人材受入推進事業では、技能実習のほか、自社社員の確保の視点から長く働いてもらえるような育成の視点を今後より強めていく必要がある。その他、産業界のニーズ（困りごと）を収集する取り組みにもより注力していくことが求められる。 ・CNF以外の分野においても、民間への技術移転に今後注力し、ものづくり企業の“稼ぐ力”を作るためのデジタル化支援体制の構築を期待したい。
⑤まじめな愛媛の林業！魅力ある林業創生推進事業	<p>女性や外国人の林業分野への就業支援を推進されており、今後の更なる支援の増大を期待したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要がさらに拡大、安定すれば、運搬道や荒廃森林の整備も進み、加えて機械化が進むことで新規就業者の待遇改善にもつながっていくと思う。 ・今後は、高齢化・人手不足やカーボンニュートラルにも対応した機材の導入支援またはCO2吸収量のクレジット化への支援も期待したい。
⑥食べてみとん愛顔になるけん！ニューノーマルに対応した愛媛の農林水産物のブランド化・販売促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・“えひめのまじめし”や“えひめの3畜”などの消費者向けコンテンツは何度も見返したくなる内容となっており、県内外へ良いPRができていていると感じる。 ・他産地と差別化し、色々な角度からPRして欲しい。
⑦愛媛発の暮らし方改革提案と新たなコミュニティ形成による若者世代呼び戻しプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・若年移住検討者にとって移住先での雇用や給与水準が不安要素になるが、都市圏の人口の年取レンジは地方部より高いことが多い。移住検討者に対する、県内企業の魅力発信（ビジョン、技術力、ポテンシャルなど）にも注力し、金銭以外の価値観にも訴求することが、地方への人口の流入につながるのではないかと感じる。 ・旧来からの地域社会における「女性への負担」の大きさを軽減するための、地域社会への啓発事業がなされることが望ましい。
⑧つながるきずな、ひろがるいやし、愛媛県南予から発信する「えひめシフト！！」	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプイベントやえひめ宇宙フェス、南予移住マネージャーなどによる南予の魅力発信・向上については豊富な自然を知ってもらう有効な取り組みであると感じる。 ・交流人口を増やすグリーンツーリズムでの交流も魅力を伝える方法になると思う。
⑨デジタル人材の教育・育成・誘致と産業のDXによる本県産業の稼ぐ力強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・育成したデジタル人材が県内にとどまり、県内のデジタルを育て、DXを進めていくということが必要。 ・「DX」という言葉が中小企業のハードルを上げていないかを感じる。デジタル化やIT化すら実現できていない企業は多い。もっと企業が“とっつきやすい”事業名や支援内容で、裾野が広がれば良い。 ・DXの先行事例の見せ方については、経営の全体像（経営者、経営理念・ビジョン、ビジネスモデル、仕組み化、人材育成）の中に位置付けたDXの見せ方が、より望まれる。
⑩とべもりを核とした関係人口創出とSDGs体験事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「えひめこどもの城施設整備」「とべ動物園魅力向上戦略推進事業」などデジタルマーケティングやオンライン広告などを利用して関連事業が行われ、とべ動物園とえひめこどもの城の魅力向上、来場者数に寄与したと考えられる。 ・今後、より一層の関係人口の創出による更なる利用者増加を期待したい。
⑪若年者の就職・結婚等ライフデザインの希望を叶えるための企業行動変容支援プロジェクト 小計(6事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフデザインは、継続して考え続けるものなので、「えひめの若者ライフプラン形成セミナー」で気づきを得た若者が、愛媛県のリソースであるジョブカフェ愛媛workや愛媛結婚支援センターを利用して継続してライフデザインを考えられるような流れになるとより効果が上がる。 ・男性育休取得の推進に関して企業間においてかなりの温度差がある。推進に躊躇している企業に対し、両立支援に関する情報やメリット、ノウハウを提供することを期待したい。

えひめチャレンジプラン推進懇話会
デジタル田園都市国家構想交付金事業（R5）に係る委員の主な御意見

事業名	主な御意見
⑫「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」を備えた人材の育成によるデジタルトランスフォーメーション加速化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の育成は進んでいるが、それを如何にビジネスの場面に結び付けていくかが重要となる。実務に直結するメニューの構築が望まれる。
⑬プロフェッショナル人材地域還流促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に採用されたプロフェッショナル人材がどの程度活躍出来ているか、そして採用企業に定着しているかが気になることである。より成果を挙げるためには、本事業の中で、受入先、プロフェッショナル人材、両者の意識の齟齬を減らす支援も必要であろう。 ・さらなる事業の質向上のため、企業の経営課題の解決状況やプロフェッショナル人材の定着状況など、マッチング後の動向にも注視していく必要がある。
⑭愛媛の求人・移住総合情報サイト「あのこの愛媛」を活用した雇用・移住マッチング促進事業、愛媛グローバルビジネス創出支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「あのこの愛媛」による雇用・移住のマッチング支援は、移住希望者のニーズをとらえ、特に都市部からの移住促進に大きく寄与している。 ・「あのこの愛媛」の認知度を高めて、若い方に見てもらい、大手の求人サイトに負けないように、発信をしてほしい。 ・「あのこの愛媛」をスマートフォンアプリとしてリリースすると、より使用者が増え、注目が集まり、目標値の達成に繋がるのではないかと思う。